



平成 22 年 7 月 30 日

各 位

会 社 名	豊 商 事 株 式 会 社
代表者の役職名	取 締 役 社 長 石 黒 文 博 (J A S D A Q ・ コード番号 8 7 4 7)
問い合わせ先	常務取締役管理本部長 篠 塚 幸 治
電 話 番 号	(0 3) 3 6 6 7 - 5 2 1 1 (代表)

「外国為替証拠金(F X)取引」における取扱いの変更についてのお知らせ

当社は、平成 22 年 7 月 30 日開催の取締役会において、「外国為替証拠金(F X)取引」における取扱いに関しまして「店頭取引(e-kawase)」の取扱いを終了することを決議し、「取引所為替証拠金取引(くりっく 3 6 5)」の取扱いに一本化することいたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 「外国為替証拠金(F X)取引」における取扱いの変更の理由及び内容

当社は、商品先物取引に次ぐ新たな事業として平成 12 年 7 月から「外国為替証拠金(F X)取引」の「店頭取引(e-kawase)」の取扱いを開始し、「外国為替証拠金(F X)取引」を開拓・啓蒙等事業の健全な発展・推進に努める等先駆者的な役割を担ってまいりました。一方、東京金融先物取引所（現 東京金融取引所）が「外国為替証拠金(F X)取引」を「取引所為替証拠金取引(くりっく 3 6 5)」として上場し、当社は平成 18 年 4 月から当上場商品を「Yutaka24」（当社取扱サービス名）により取扱いを開始し、その取扱高は年々増大してきております。

現行、「外国為替証拠金(F X)取引」は上記のとおり、「店頭取引(e-kawase)」と「取引所為替証拠金取引(くりっく 3 6 5)」の 2 方法で取り扱っておりますが、リーマン・ショック以降の厳しい経営環境の中、当事業における維持管理のコストと採算性等の観点から、東京金融取引所の「取引所為替証拠金取引(くりっく 3 6 5)」の取扱いに一本化し、「店頭取引(e-kawase)」についてはその取扱いを平成 22 年 11 月 30 日を以って終了することといたしました。

2. 「店頭取引(e-kawase)」の直近期の経営成績

「店頭取引(e-kawase)」の平成 22 年 3 月期の経営成績は下記のとおりであります。

平成 22 年 3 月期実績(連結)

受取手数料 147 百万円（受取手数料に占める比率 3.0% 営業収益全体に占める比率 3.1%）

（参考） 「取引所為替証拠金取引(くりっく 3 6 5)」の平成 22 年 3 月期の経営成績

受取手数料 1,689 百万円（受取手数料に占める比率 34.8% 営業収益全体に占める比率 36.1%）

3. 業績の影響

「店頭取引(e-kawase)」における経営成績に占める比率は、平成 22 年 3 月期では営業収益全体の 3.1%であることから、今後の業績に与える影響は軽微であると判断しております。

なお、平成 23 年 3 月期第 1 四半期の業績につきましては、現在集計中であり、平成 22 年 8 月 13 日に公表する予定であります。決算の概要がまとまり次第、速報値としてお知らせいたします。

以 上